

講義名	データでみる現代経済		
科目区分	基幹		
担当教員	森澤 龍也		
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 2時限	授業形態	
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

現代経済の動きを理解するためには、経済統計の活用が必須といえる。この講義では、データに基づいて現代経済をみるための基礎を学ぶ。より具体的には、代表的な経済統計を活用して現代経済の実相をみていくとともに、金融データを用いて、担当者の専門である金融の視点からも、現代経済の実態を分析したい。

到達目標

(1) 代表的な経済統計（GDPやCPIなど）を学ぶことができる。
(2) データの動きから実際の経済で起こっている事柄を読み解くための基礎を習得できる。
(3) 経済の論理と経済データの動きの結びつきを学ぶことができる。

提出課題

講義中に小演習を課すことがある。（講義の進捗状況をみて実施するかどうかを判断する。）

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

小演習を実施する場合は、講評を述べる。

評価の基準

基本的に、定期試験の結果によって評価する。小演習を実施した場合、その評価は上記評価への加算とする。
オンライン講義対応となり、定期試験が実施されない場合は、その代替措置として最終確認演習を実施する予定である。

履修にあたっての注意・助言他

講義中での私語は厳禁である。質問は遠慮なく尋ねられたい。

教科書	『レクチャー&エクササイズ金融論』	森澤龍也	新世社	2200円+税	978-4-88384-222-3
-----	-------------------	------	-----	---------	-------------------

プリント資料及び参考文献

必要に応じて、担当者作成の講義レジュメおよび参考資料を配布する。
参考文献については講義中に適時、紹介する。

授業計画

オンライン講義対応の場合、下記の授業計画は一部変更される予定である。第1回の講義に必ず参加するようにしてもらいたい。

- 1 データでみる現代経済序論
- 2 国民所得統計：GDPとは
- 3 国民所得統計：三面等価
- 4 日本の経済成長
- 5 日本の景気循環
- 6 日本の資金循環
- 7 お金の動き：マネーストック
- 8 お金の動き：マネタリーベース
- 9 物価の動き：インフレとデフレ
- 10 金利の動き
- 11 通貨・物価・金利と金融政策
- 12 資産価格の動き：株債と地債
- 13 国際収支と為替レート
- 14 日本経済の今後
- 15 総復習

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

総予習（教科書講読） 5時間
予習 1.5時間/回×15回
復習 1.5時間/回×15回
試験用学習 10時間

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

講義中での積極的な質問を期待する。

実務経験の有無及び活用

備考